

## Top Message

### グループCEO・社長メッセージ

#### 世界中の方々と感動を分かち合える グローバルな企業グループへ

「常に時代の一步先を行く」この創業の経営姿勢が、セイコーの革新と躍進を支えてきました。2014年、この先取の精神に加え、すべてのステークホルダーの皆さまと、希望に満ちた新たな時代を「ワクワク感・ドキドキ感」を持って共に創り、共に楽しみ、共に響きあいながら歩いていきたいとの願いをこめ、グループスローガン「時代とハートを動かすSEIKO」を掲げました。そして創業135年にあたる今年2016年には、スローガンの精神を具現化すべく、10年後の将来に向け目指す姿を長期ビジョンとして制定しました。これからも時代をリードする先進性と革新性を備えながら、時に寄り添い、心に刻まれる製品と品質・サービスを提供し、世界中の方々と感動を分かち合える、グローバルな企業グループを目指してまいります。

セイコーホールディングス株式会社  
代表取締役会長兼グループCEO

服部 真二

#### 持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指して

長期ビジョンの実現に向けて、2020年までにグローバル市場のリーディングカンパニーとなることを目指し、第6次中期経営計画がスタートしました。事業戦略では、ウオッチ事業を中核とする高収益グループを目指し、「収益力の強化と成長への投資」を推進してまいります。また、「経営基盤の強化」を徹底し、特に、コーポレートガバナンス体制においては、さらなる強化を図るため、独立社外取締役を中心とした諮問委員会の設置、取締役会の実効性評価の仕組みなどを導入いたしました。さらに、自己資本の充実と有利子負債の削減を進めるとともに、グローバル人材育成や女性活躍推進などにも力を入れてまいります。こうした取り組みによって、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

セイコーホールディングス株式会社  
代表取締役社長

中村 吉伸



代表取締役会長兼グループCEO  
服部 真二

代表取締役社長  
中村 吉伸

## Contents

Top Message	グループCEO・社長メッセージ	1
Photo Story	フォトストーリー	3
Our Profile	セイコーホールディングスグループの概要	7
Our Value	世の中にないものを生み出す セイコーの価値創造	9
Our Vision	第6次中期経営計画	11
Our Business	事業紹介	15
Our Sustainability	セイコーホールディングスグループのCSR	21

### 世界時計「Seiko Space Eye」

2016年5月、東京・銀座のセイコー新社屋に大型世界時計「Seiko Space Eye」が設置されました。高精細の円形LEDスクリーンを直径3.9mの金属の輪が囲み、その中で、宇宙に浮かぶ地球がゆっくりと自転して、世界の全40タイムゾーンを含む77か所の時刻を表示します。

毎正時には、「報時デモンストレーション」を行うほか、セイコーのCMやビデオも上映します。





スポーツには、世界を興奮と感動で満たす力があります。セイコーはこのスポーツの力を信じ、「時代とハートを動かすSEIKO」のスローガンのもと、IAAF世界陸上や東京マラソンなどさまざまなスポーツ大会を計時・協賛し、スポーツ選手の活動をサポートしています。2015年にセイコーの社員となった山縣亮太選手も、陸上男子100mで夢の9秒台に挑み続け、スポーツを通して、ワクワク、ドキドキを届けています。

# スポーツを通して ワクワク、ドキドキを届ける



CD

SEIKO

時代とハートを動かす山縣

作詞 セイコー社員  
作曲 服部真二

レース後の山縣選手を囲む社員たち

セイコーイメージソングの山縣選手応援バージョン  
<http://www.seiko.co.jp/branding/athlete/yamagata.html>



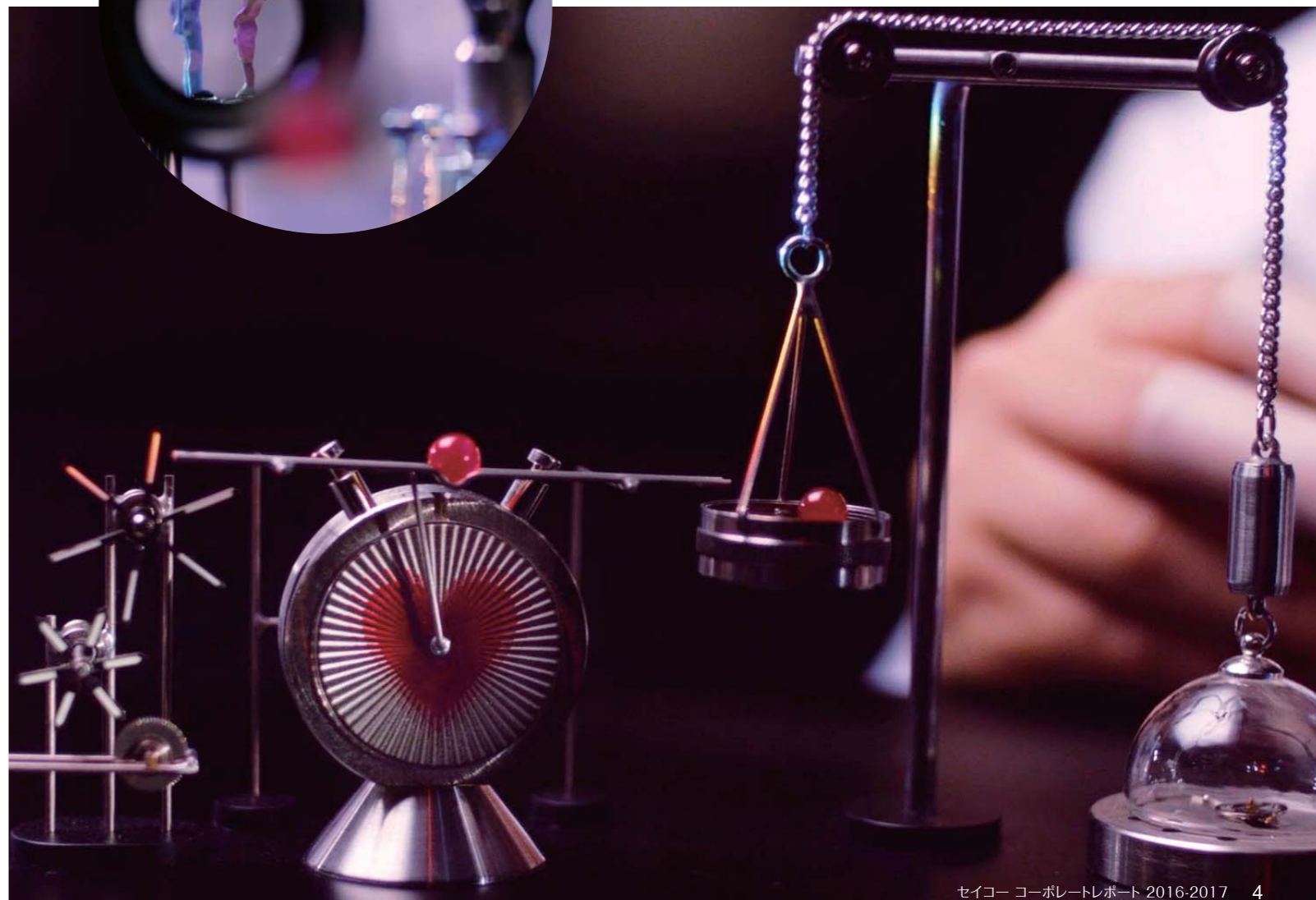
セイコーが提供する音楽番組「Sound Inn "S"」(BS-TBS)  
2016年5月のゲスト 西内まりやさん

ブランド・ミュージックビデオ「Art of Time」  
<http://www.seiko.co.jp/artoftime/>



# 音楽で 時を彩りたい

セイコーは、「時に音楽を乗せて、人々に豊かな時間を提供したい」という思いを込めて音楽番組「Sound Inn "S"」をはじめとするさまざまな音楽・文化活動を支援しています。音楽は、形を持たない、時間を制する芸術であり、時間を彩ることができます。ブランド・ミュージックビデオ「Art of Time」は、この思いを形にしたものです。イメージソング「時代とハートを動かすセイコー」を背景に、機械式腕時計のパーツで創り上げられた精密な舞台装置が、時計職人が操る繊細な指先の連携によって、輝きを放ち動き出します。





セイコーは、最新の設計・製造技術で、世界一小さいウールビヨン※ムーブメントを開発しました。このムーブメントを使って、デザイン、彫金、漆のすべてに最高の匠が携わり作り上げた時計が「FUGAKU」です。葛飾北斎の「富嶽三十六景」をモチーフにセイコーの誇るデザイナー、名工と世界的漆芸家が力を合わせました。セイコーはこの「FUGAKU」をはじめ、最新技術と伝統工芸の融合で高級時計の世界を探究しています。

※時計の精度を司るてんぶや脱進機等の部品を「キャリッジ」と呼ばれる小さなご枠の中に取りめて回転させることで、時計の姿勢が変わることによる重力の影響を平均化し、精度を安定化する機構です。  
世界で最小体積：2016年1月セイコー調べ。

ここにも、あそこにも  
セイコーがお知らせする  
確かな時がある



成田国際空港第2ターミナル 世界時計 / 2015年4月設置  
世界35都市から7都市ずつをスクロール表示。中央の世界地図は毎正時と30分に季節感を表すカラーでデモンストレーションを行います。

## 洗練の時計技術と 伝統の技が作り上げる芸術



台北松山空港  
親子時計・塔時計 / 2015年12月設置  
建物内に28か所の親子時計と建物前に塔時計を設置しました。



鉄鋼ビルディング 世界時計 / 2016年2月設置  
東京駅に隣接する鉄鋼ビルディング1階に設置された幅21m高さ3.8mの大型世界時計。



銀座・伊東屋「キツツキ時計」 / 2015年6月設置  
毎正時にキツツキが木琴の音で時を知らせます。



銀座 初代時計塔  
1894年竣工

街角で、公園で、駅や空港で、セイコーは正確な時刻をお伝えしています。なかには、長年にわたり地域の皆さまに愛され、街のシンボルになっているものや、楽しく夢のある演出で、待ち合わせ場所として親しまれているものもあります。1894年に初代時計塔を銀座に建てて以来、セイコーは、公共の場所で多くの人々に確かな時を知らせる、さまざまな時計を世に送り出しています。



彫金師 照井 清  
セイコーインスツル(株)  
雫石高級時計工房



組立師 平賀 聡  
セイコーインスツル(株)  
雫石高級時計工房



デザイナー 小杉 修弘  
セイコーインスツル(株)  
総合デザイン部



設計 森 裕一  
セイコーインスツル(株)  
時計設計部



漆芸家 田村 一舟氏

# セイコーホールディングスグループの概要

世界各地に製造・販売拠点をおき、各国に広がる代理店ネットワークを通じてグローバルに事業を展開しています。

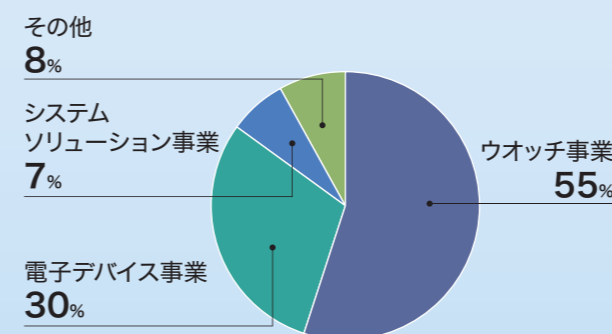


## セイコーホールディングス株式会社 企業概要

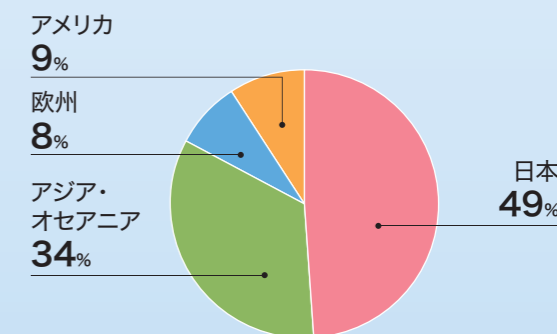
創業	1881年(明治14年)
資本金	100億円
従業員数	128名 (2016年3月31日現在) 13,437名 (2016年3月31日現在連結)
売上高	119億円 (2016年3月期) 2,967億円 (2016年3月期連結)
事業の内容	ウォッチ、電子デバイス、システムソリューション、クロック、高級宝飾・服飾・雑貨、設備時計などを扱う事業会社の連結経営管理
本社所在地	〒104-8110 東京都中央区銀座一丁目26番1号 TEL:03-3563-2111(代表)



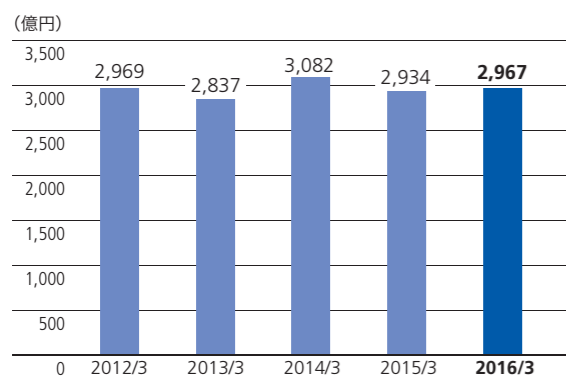
事業別売上高構成比 (2016年3月期) 注) 数値は連結ベースです。



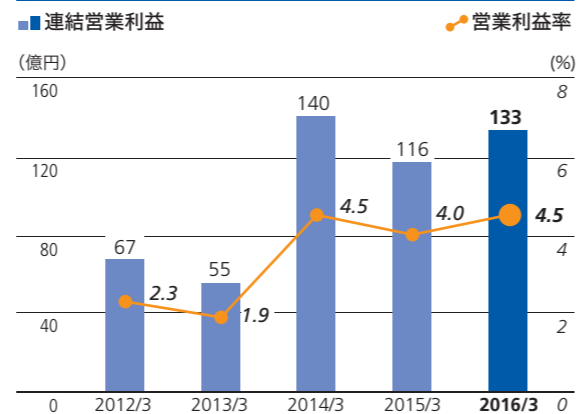
地域別売上高構成比 (2016年3月期) 注) 数値は連結ベースです。



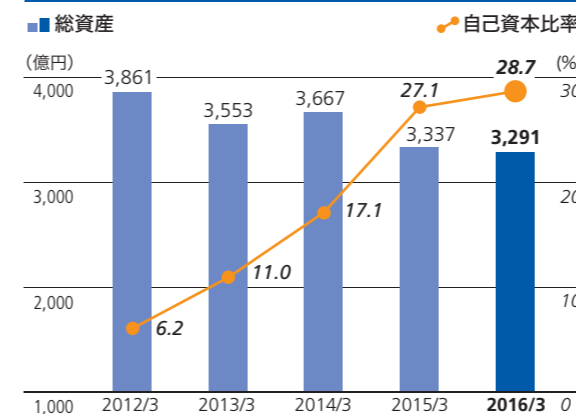
## ● 連結売上高 2,967億円



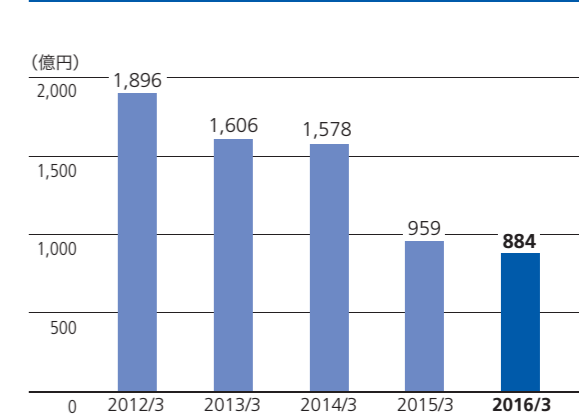
## ● 営業利益率 4.5%



## ● 自己資本比率 28.7%



## ● ネット有利子負債 884億円



# 世の中にないものを生み出す セイコーの価値創造

セイコーは、1881年の創業以来、「常に時代の一步先を行く」という精神を貫き、革新的な製品を提供し続け、時代とハートを動かしてきました。さらに、こうした製品をつくるために必要となるものを自ら創り、世の中に送り出してきました。

## 世界への挑戦で 頂点を極め、新たな時代を拓く 「高級時計」

1940年代末から国内の精度コンクールを席卷したセイコーは、1964年からいよいよ機械式でスイスの天文台コンクールに挑戦します。初年度こそ成績が振るわなかったものの、68年のジュネーブのコンクールで機械式の首位から7位までを独占して、機械式時計の頂点を極めました。

こうした技術進歩とともに1960年に商品化されたのがグランドセイコーです。スイスのクロノメーター規格をしのぐ厳しい精度基準を保ち、独自の規格に合格したもののだけがグランドセイコーとして販売されます。

高級時計におけるセイコーの卓越した技術は、グランドセイコーに留まりません。クレドールは、厚さ2mm以下の極薄ムーブメント、トゥールビヨンや、機械式とクォーツの特長を融合させたスプリングドライブムーブメントを使ったミニッツリピーターなどの複雑時計で新たな時代を拓き、独自の彫金や漆、象嵌など日本の伝統技術で美しく仕上げています。



ミニッツリピーター

ニューシャテル出品ムーブメント  
(1967年)

## 時計製造の精密加工技術 が可能にした 「インクジェットプリントヘッド」

1990年代半ば、セイコーインスツル(株)は急速に普及していた家庭用カラープリンターに着目し、インクジェットプリントヘッドの量産化を検討していました。しかし、ヘッド材料である硬く脆いピエゾセラミックに、幅わずか数十ミクロンの微細なインク室を精度よく、安定的に加工するのは困難を極めました。

その課題解決のカギを握ったのが、長年の時計製造によって培った精密加工技術でした。時計の部品に使われる穴石、サファイアガラス、水晶などの精密加工ノウハウを取り込むことで高精度かつ安定的な加工を実現したのです。また、デジタルウォッチから派生した液晶モジュールの回路実装技術を応用し、高密度実装とコスト低減を可能にしました。

時計とは関係のないインクジェットプリントヘッドですが、その中には、時計から生み出された数々の精密加工技術が活かされています。

インクジェットプリントヘッド  
第1号(1999年)

## クォーツウォッチの 開発から生まれた 「CMOS-IC」

1960年代末、時計メーカー各社はクォーツウォッチの開発を競っていましたが、消費電力が低く、時計用として高い優位性のあるCMOS-ICについては実用化の目途が立っていませんでした。そうした状況のなか、セイコーインスツル(株)は、1970年アメリカのベンチャー企業と共同でCMOS-ICの第1号を完成させ、これを搭載したクォーツウォッチ「36SQC」を世界で初めて発売しました。

その後、CMOS-ICのさらなる省電力化や高機能化を進め、時計用だけでなく、産業・家庭用機器に用途を広げます。そして今日では、電源ICやセンサ、メモリなどにラインアップを広げ、リチウムイオン二次電池保護ICで世界トップクラスのシェア、車載用EEPROMで国内トップシェアを誇るなど、さまざまな分野で活躍しています。

「36SQC」の完成品とムーブメント  
(1970年)

## インターネットのない時代に 「独自の無線ネットワーク」 を展開

セイコーと無線通信の関わりは古く、1970年の大阪万博で設置した電波時計には、独自のプロトコルを用いた無線コントロールシステムが使われていました。その後、無線の技術は、時計生産管理やオンラインシステムなど、モノづくりの現場で活用されてきました。また、親子時計に無線を使った無線時計システム「タイムリンクプロ」など、時計に無線技術を応用した製品を世に送り出しています。

1985年には、外食産業の高まりを受け、レストランオーダーリングシステムを発売します。そして1999年、日本初の無線クレジットカード決済システム「CREPiCO(クレピコ)」は、現在のマルチ電子決済システムの先駆けとなりました。

大阪万博で設置した電波時計  
(1970年)

# 第6次中期経営計画

セイコーは、グループスローガン「時代とハートを動かすSEIKO」を踏まえて、10年後の将来に向け長期的に目指す姿を長期ビジョンとして制定し、その実現へのロードマップとして、第6次中期経営計画を策定しました。

**守り**

**第5次中期経営計画**  
(2013年度—2015年度)

ウオッチ事業を中核とする事業構造への転換を目指し

- ① 事業の拡大、再生、再編
- ② 財務体質の改善

**攻めへの組織改革を継続**

**第6次中期経営計画**  
(2016年度—2018年度)

ウオッチ事業を中核とする高収益グループを目指し

- ① 収益力の強化と成長への投資
- ② 経営基盤の強化

**攻め**

**第7次中期経営計画**  
(2019年度—2021年度)

2020年までにグローバル市場のリーディングカンパニーへ

**長期ビジョン**  
(目指す姿)

常に時代をリードする先進性と革新性を備え  
お客さまの期待を超える製品と品質・サービスを提供し  
世界中のステークホルダーと感動を分かち合える  
グローバルな企業グループを目指す

グループスローガン

時代とハートを動かす  
**SEIKO**

セイコーは、創業以来「常に時代の一步先を行く」という経営姿勢を貫き、革新を続けてきました。この創業からの思いと、「お客さまの感性に訴えたい」という新たな思いを込め、企業スローガンを制定しました。時代を牽引してきた技術力と感性で、これからも未来を創造していくというセイコーの熱い意志と躍動感を伝えていきます。

①「収益力の強化と成長への投資」

- ウオッチ事業はグループの中核事業としてさらなる成長へ(収益の拡大)
- 電子デバイス事業はコアビジネスに経営資源を重点配分し、利益を創出(収益力の向上)
- システムソリューション事業は第3の支柱事業として事業基盤を強化(収益力の強化)
- その他の事業は安定した収益体質を継続(収益力の安定)

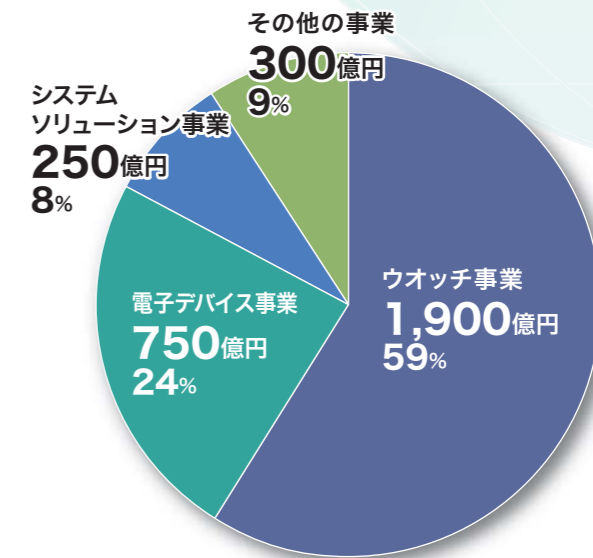
②「経営基盤の強化」

- コーポレートコミュニケーションの強化
- 資本・財務政策の基本方針の継続
- コーポレートガバナンスの強化
- 組織・グループ機能の強化、人事政策の基本方針の継続

連結目標数値(2019年3月期)

売上高	3,100億円
営業利益	170億円
自己資本比率	35%以上
ネット有利子負債	750億円以下

セグメント別売上高目標数値



※円グラフの売上高目標数値・比率は、各事業間の内部売上高調整前の数値に基づいて算出しています。  
※電子デバイス事業の2019年3月期は半導体事業合弁会社を除く前提としています。

第6次中期経営計画 セグメント別基本戦略

### ウオッチ事業


グループの中核事業としてさらなる成長へ 収益の拡大

**ポイント**

- セイコーブランドの価値向上
- メカニカルウオッチビジネスを中心とした売上・利益のさらなる拡大

**目標数値**

項目	2015年度 (実績)	2018年度 (計画)
売上高	1,644億円	1,900億円
営業利益	127億円	170億円



### 電子デバイス事業

コアビジネスに経営資源を重点配分し、利益を創出 収益力の向上


**ポイント**

- 半導体事業の再編を通じた事業収益力の強化
- 成長に向けた投資・協業の実施

**目標数値**

項目	2015年度 (実績)	2018年度 (計画)
売上高	949億円	750億円
営業利益	29億円	25億円

※電子デバイス事業の2019年3月期は半導体事業合併会社を除く前提としています。



### システムソリューション事業


第3の支柱事業として事業基盤を強化 収益力の強化

**ポイント**

- 収益力強化に向け経営資源をシフト、事業の選択と集中
- 新規戦略事業の立ち上げを加速

**目標数値**

項目	2015年度 (実績)	2018年度 (計画)
売上高	194億円	250億円
営業利益	3億円	15億円



### その他の事業


安定した収益体質を継続 収益力の安定

**ポイント**

- クロック、和光、セイコータイムシステムの各事業は営業黒字の継続を最優先
- 各事業を通じ、セイコーブランドの価値向上に貢献

**目標数値**

項目	2015年度 (実績)	2018年度 (計画)
売上高	282億円	300億円
営業利益	9億円	10億円



企業ブランディング活動の継続、強化



夢の9秒台に挑戦する社員 山縣亮太選手

SPORTS  
スポーツ



音楽番組「Sound Inn "S"」(ゲスト スキマスイッチさん)

MUSIC  
音楽



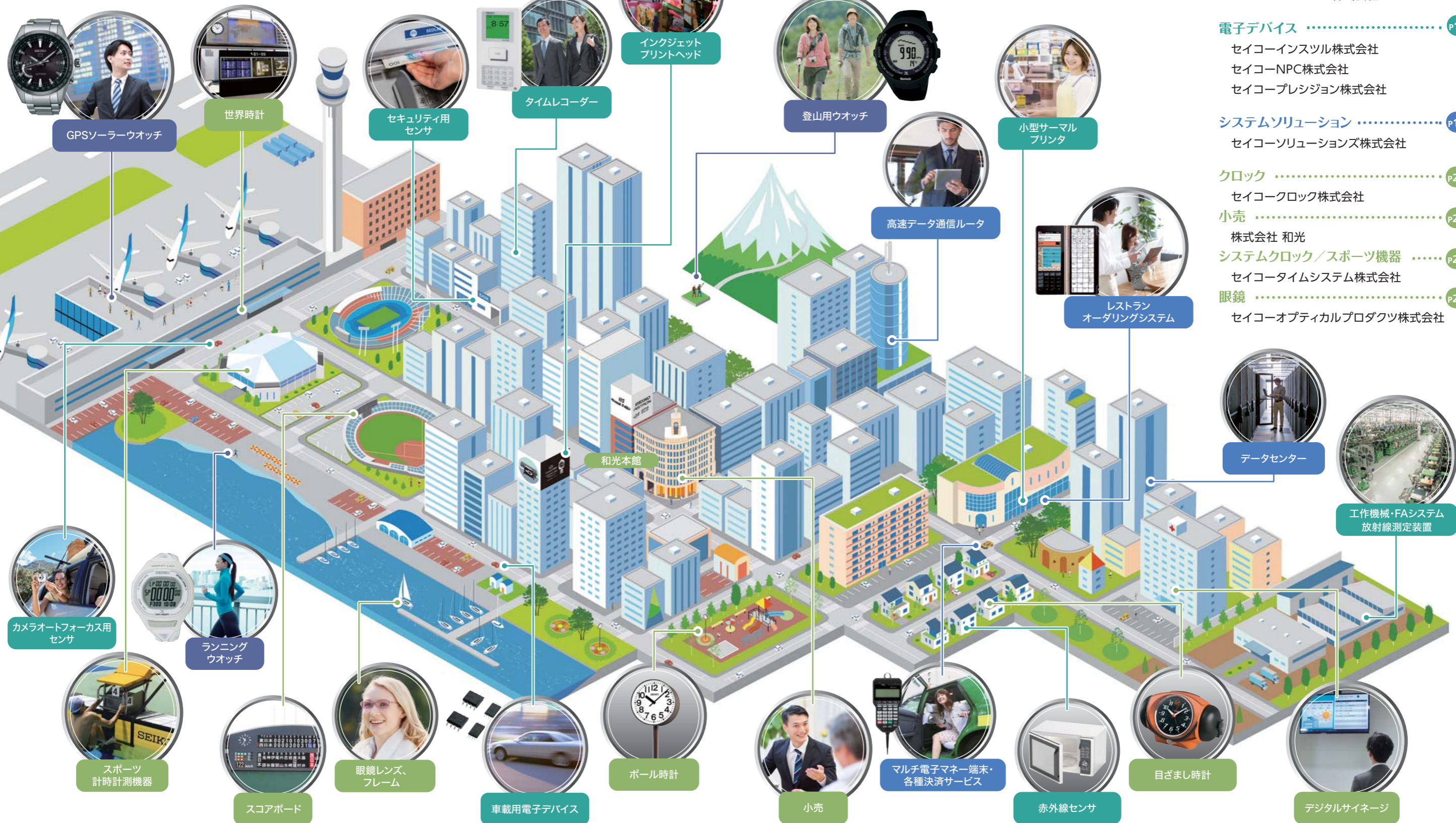
セイコーブティック フランクフルト

PR  
ブランド広告

# 事業紹介

## わたしたちの身の周りで活躍する セイコーの製品・サービス

ウオッチをはじめ、電子デバイス、システムソリューションの3事業を軸に、さまざまな事業を展開しています。グループ各社が連携しながら、さらなる飛躍を目指します。



### 主な事業会社

- ウオッチ ..... p17
  - セイコーウオッチ株式会社
  - セイコーインスツル株式会社
- 電子デバイス ..... p18
  - セイコーインスツル株式会社
  - セイコーNPC株式会社
  - セイコープレジジョン株式会社
- システムソリューション ..... p19
  - セイコーソリューションズ株式会社
- クロック ..... p20
  - セイコークロック株式会社
- 小売 ..... p20
  - 株式会社 和光
- システムクロック/スポーツ機器 ..... p20
  - セイコータイムシステム株式会社
- 眼鏡 ..... p20
  - セイコーオプティカルプロダクツ株式会社



# ウォッチ事業

## すべての主要部品を自社で製造する「マニファクチュール」として

お客様のニーズにお応えするため、国内外で幅広いブランドマーケティングを行っています。1960年の誕生より腕時計の本質を追求し、進化を続ける最高峰のブランド「グランドセイコー」をはじめ、世界初のGPSソーラーウォッチ「セイコー アストロン」、国産初のダイバースウォッチの流れをくむ「プロスペックス」、グローバル展開を進める日本製のメカニカルウォッチ「セイコー プレザージュ」など、全世界でさまざまなライフスタイルに合った個性豊かな腕時計を提供しています。

セイコーは部品製造から完成品の組み立て、調整、品質検査まで、すべて自社で一貫して行う世界でも数少ない「マニファクチュール」として、世界のウォッチ市場でリーディングカンパニーを目指します。



「グランドセイコー」

伝統あるセイコースタイルを継承しながらも、腕時計の本質を追求し、進化を続ける最高峰のブランド。レディースモデルのラインアップも強化。



「セイコー プレザージュ」

100年を超える機械式時計の正統。日本が誇る技術に本物の自信が宿る。実用性と機械式の味わいを融合させた世界に広がる日本製のメカニカルウォッチ。



「セイコー アストロン」

2012年に誕生した世界初のGPSソーラーウォッチ。世界のタイムゾーンに対応し、簡単な操作で、地球上のさまざまな場所で正確な時を知ることができる。



セイコーウォッチ株式会社  
セイコー第一企画部  
**山本 かおり**

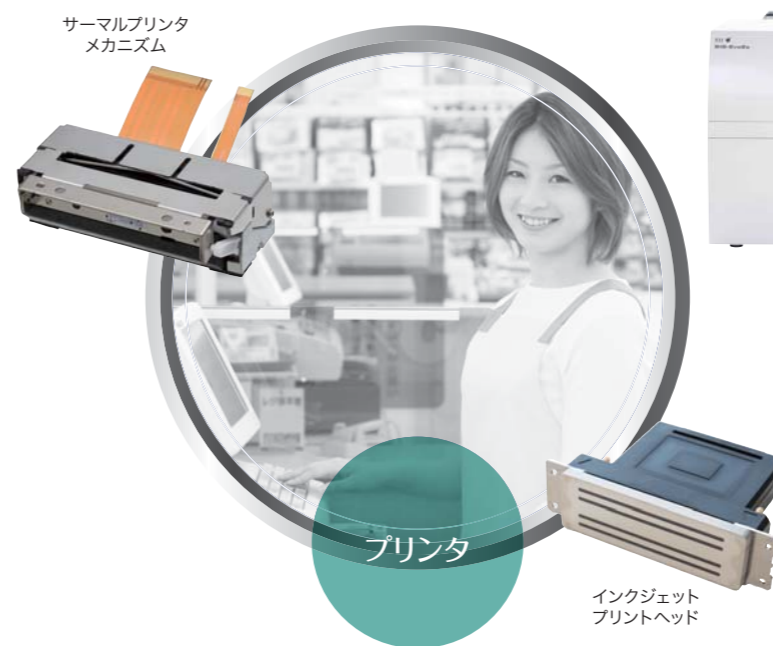
アメリカ向けウォッチの商品企画を担当しています。売上データの分析や現地からの情報をもとに、企画を立案し、デザイン、価格、最終仕様をまとめていきます。年に数回はアメリカに出張し、現地法人のスタッフと直接打ち合わせを行います。商品企画は、非常に多くの人とかかわる仕事です。まずは企画担当であるわたしが商品のことを深く考え、皆が前向きに取り組めるよう心がけています。「日本の良いものを海外に発信したい」という思いで入社しましたので、SEIKOの商品を海外の方に愛用してもらおうよう日々考える仕事は、入社時からの夢であり、やりがいを感じます。

# 電子デバイス事業

## 高度化する社会と産業を多彩なテクノロジーでサポートする

クォーツウォッチの開発から生まれた電子部品は、スマートフォンやデジタル家電、自動車、産業用機器などの分野で幅広く活躍しています。なかでもCMOS-ICは、厳しい環境下での安定動作が求められる車載用にも多く採用され、その実力が高く評価されています。

また、世界ナンバーワンのシェアを誇る水晶発振器用ICは、高精度、低消費電力、優れた温度特性を有し、AV機器・電子機器や携帯基地局など通信インフラの発振器において、安定した基準信号を生成する要の役割を果たしています。光・温度・磁気・動き・傾きなどの繊細で軽微な変化を的確に検知する各種センサは、カーナビや紙幣認証などの分野で広く用いられ、豊かで快適な生活をサポートしています。



プリンタ

サーマルプリンタ  
メカニズム

インクジェット  
プリントヘッド



エスアイアイ・プリンテック株式会社  
生産技術部  
**間山 大輔**

業務用インクジェットプリンタのインクジェットプリントヘッドを製造しています。わたしの担当はインクを吐き出させるポンプの役割となるアクチュエータです。日々「現場」に足を運び、「現物」を確認し、スピーディーに「現実」をとらえるよう心がけています。また、人による作業も多いため、製造現場を中心にさまざまな人とのコミュニケーションを密にとり、コストを抑えながら品質の良い製品を作っていくことに大きなやりがいを感じています。今一番の課題は新製品の歩留向上です。工程確認と分析を地道に行い、一つずつ解決していくことで、目標達成を目指していきます。



メカトロ

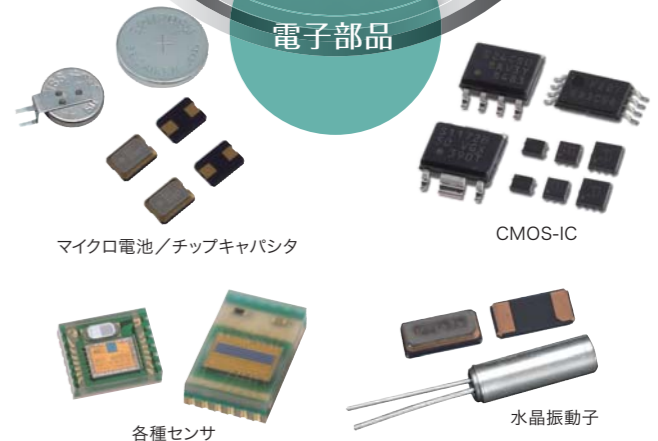
デジタルカメラ用シャッター

自動車用  
精密加工部品

内面研削盤



電子部品



マイクロ電池/チップキャパシタ

CMOS-IC

各種センサ

水晶振動子

## ICTプロフェッショナル集団としてソリューションを提供

激動するネットワーク社会のなか、セイコーの「確かな品質」を信条に、お客さまにとって最適な「つなぐ」ソリューションを提供しています。その基盤となるのはネットワーク、無線技術、電子決済サービス、システムインテグレーションなどの技術です。これからもターゲットとする市場に対して、ICTプロフェッショナル集団のビジネスパートナーとして、お客さまの期待を上回る一歩先のソリューションをダイナミックに創出してまいります。

電力に留まらない総合管理を実現する  
エネルギー監視・制御ソリューション  
**GreenTALK**  
エネルギー監視・制御ソリューション

**ROS<sup>3</sup> CAPS**  
Card Automatic Payment System

**L-CRIP**

決済ビジネス  
各種ソフトウェア

SEIKO  
Cyber Time  
2006/06/10  
10:08:59

いつでも  
どこでも

タイムスタンプ  
サービス

**Thinc-CORE**  
シンクライアント  
決済ソリューション

金融業界



「ミスター省エネ」  
温・湿・照度ノード



高速データ通信ルータ  
「SkyBridge」



データセンター

ロードバランサ  
「Netwiser」

グランドマスタークロック  
「TimeServer Pro.」

コンソールサーバ「SmartCS」



タクシー向け  
決済端末

車載関連



**oishino**  
レストラン  
オーダーリング  
システム



「MONSTERA」

**CREPiCO**  
マルチ電子マネー  
決済サービス

店舗／飲食店



セイコーではたく  
人

セイコーソリューションズ株式会社  
ネットワークソリューション統括部  
**金子 元気**

ロードバランサの開発を行っています。ロードバランサとは、サーバに対する外部からのアクセスを一元的に管理し、複数のサーバに要求を分散する負荷分散装置のことです。この仕事の大きなやりがいは、モノづくりの上流から下流まですべてに関われることです。最初はただの鉄の箱だったものが、わたしたちが開発したソフトウェアの力で製品になっていく姿を見ると、赤ちゃんを育てているような感覚になります。ひとつずつ機能がプラスされ完成された製品に育っていくプロセス自体が、次のステップへの大きなモチベーションになります。

## クロック

掛時計の製造開始より120余年、企画・製造からアフターサービスまでを行うクロックトータルカンパニーとして、高い品質とモノづくりの技、先進技術の融合により、幅広い商品ラインアップを誇ります。

## 小売

銀座を代表する高級専門店・和光では、時計をはじめ、宝飾品、紳士・婦人用品、室内装飾品、食品など、独自開発した、あるいは国内外から厳選した、高品質の商品を幅広く取り揃え、質の高いサービスを提供しています。

また、銀座を見守る和光本館は1932年の竣工以来、銀座のシンボルとして多くの人々に愛されてきました。長い歴史と伝統のなかで培ってきた上質へのこだわりとおもてなしの精神で、これからもお客さまとの信頼関係を大切にしていきます。

## システムクロック／スポーツ機器

学校・公園・駅などで使われる設備時計、街を彩るからくり時計、放送局用の専門的な時計から、スポーツ計時計測機器、大型表示盤や野球場スコアボードなど、システムクロックやスポーツ機器の企画・開発から製造・販売、アフターサービスにいたるまで総合的に行っています。

また、国際大会などで培われた豊富な経験と高度な技術力をベースに、各種スポーツ大会の計時支援活動も積極的に展開しています。

## 眼鏡

90年以上の歴史を誇る眼鏡事業。レンズとフレーム双方を扱う世界に数少ない会社として、最高、最適なパフォーマンスを実現するメガネ「EYEWEAR THAT PERFORMS」を提供していきます。

※2016年4月、セイコーオプティカルプロダクツ(株)は、国内向け事業を切り離し、子会社であるベストビジョン(株)と事業統合、新たな販売会社セイコーアイウェア(株)を設立しました。また、セイコーオプティカルプロダクツ(株)は世界のセイコー眼鏡ビジネスを統括しています。



セイコーではたく  
人

セイコークロック株式会社  
第一営業部  
**小林 猛男**

家電量販店の営業を担当しています。クロックを売るだけでなく、売り場のメンテナンスから商品展開までの提案、取付物を活用した売り場全体の提案、適正在庫数や在庫金額の提案など、業務は多岐にわたります。SEIKO商品の良さをアピールするため、お客さまの歩先に行く提案を行い、お客さまの要望に誠心誠意向き合うことを心がけています。こうした仕事を通じて、自分の考えを売り場内で実現でき、さまざまな人から信頼を得られることにやりがいを感じます。お客さまからすべてを任せて頂ける関係になったときは、嬉しかったですね。



カラー液晶  
デジタルクロック  
セイコーシリーズC3



和光本館



子ども用ボール時計



幅広いラインアップが揃う  
セイコーの眼鏡商品